

授業概要

乳幼児期から老年期までの生涯発達について学ぶ。家族や家庭を理解し、子育て問題のもっとも身近な存在である保育現場の社会的役割と機能を知る。保護者や地域住民に対する支援の意義や在り方、取り組みについて学ぶ。事例検討やグループワークを通して、子育て支援の具体的な方法について指導する。

授業計画

第 1 回	乳児期の発達
第 2 回	幼児期の発達
第 3 回	学童期の発達
第 4 回	青年期の発達
第 5 回	成人期・中年期の発達
第 6 回	高齢期の発達
第 7 回	家族・家庭の意義と機能
第 8 回	家族関係・親子関係の理解
第 9 回	子育て経験と親としての育ち
第 10 回	子育てを取り巻く社会的状況
第 11 回	ライフコースと仕事・子育て
第 12 回	多様な家庭とその理解
第 13 回	特別な配慮を要する家庭
第 14 回	子どもの生活・生育環境とその影響
第 15 回	子どもの心の健康にかかわる問題
第 16 回	筆記試験の実施

到達目標

1. 生涯発達と初期経験の重要性について理解する
2. 家庭や家族の意義、機能を理解し、子どもと家族を包括的に捉えられるようにする
3. 子育て家庭をめぐる社会状況の課題を理解する
4. 子どもの精神保健とその課題を理解する

履修上の注意

保育士資格取得希望者の必修科目である

予習・復習

予習：次回のテキスト該当箇所を読んで予習をしておくこと。

復習：レポートを課す場合がある。身の回りの子どもの生活や社会的な出来事に目を向けること。

評価方法

期末試験（60%）、授業態度・参加意欲（40%）をもとに総合的に評価する。

テキスト

- ・教科書名：子ども家庭支援の心理学（新・基本保育シリーズ）
- ・著者名：白川佳子、福丸由佳
- ・出版社名：中央法規出版
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4-8058-5789-2）